

疾患者

「参加したい」の理由

Q10	整理項目	Q11「治験」への参加意向「参加したい」の理由
1	医学の進歩のため	自分のため、新薬開発のため
1		薬の進歩につながるならよい
2		医学の進歩とともに、自らも貢献できることを願う
2		医学の進歩の為に必要なことである
2		医療の開発の為には必要だと思います
2		医療の発展の為
2		各病気の発展の為になれば
2	社会に貢献したい	今後の医療の発展になるのであれば、協力したいと思うから
2		新しい可能性が広がるそう
1		自分の体をもって社会の役に立てれば良いと思う
1		社会貢献
2		医学の進歩とともに、自らも貢献できることを願う
2		何か世間のためにお役に立ちたい
2		何らかの形で役に立てるから
2	病気で困っている人のため	経済的に助かる、人の為に役立つ
2		世の中のお役にたちたい
2		患者が一人でも多く良くなってほしいから
2		詳しいことはわかりませんが病気で苦しんでいる方に何かできるのなら参加したいと思う。
1		誰かが参加しないといけないと思います
2		役立てることに協力
2		50代半ばで、子供の出産もないし、これからの若い人達のために、新しい薬等開発される手伝いができれば
2	自分の治療のため	今後、次世代のためになるから
1		私が抗がん剤を使い、いろいろな副作用がありました。もし再発したら安全な薬で治療したい
1		自分のため、新薬開発のため
2		すべての病気を完治してほしいから
2		経済的に助かる、人の為に役立つ
2		先生からの説明が、理解できるか
2		結果が想定できない治療に不安があるため
2	説明が充分にされれば不安	少し不安
1		新薬で病気が治るなら参加してみたい。
2		その薬でよくなるためになら
2		治らない、治りにくいものが最先端の技術によって治るのであれば治してほしい。
2		病気が良くなるならば、とおもう
2		新薬が出るまでに実験など色々検査をして使用可になるので安全だと思う
2		情報不足。もっとPRが必要。
2	有効なら安全	内容がわからない
1		いっどの様な病気になるかわからないから
1		私は独学でいろんな事を行っているが薬・正しい治療はできない
2		死ぬまで元気になりたいから
2		病気の早期発見、治療に役立つと思う
2		怖い医師に勧められれば参加する
2		その他

「治験」への参加意向の理由 < 疾患者 >

Q10	整理項目	Q11「治験」への参加意向「どちらともいえない」の理由
3	その時の状況による	その時の状況によるから
3		自分の今の症状や家庭での環境などいろいろな状況を考えた上でそのときに判断したい
3		本当に自分の身体がその薬を求めているのか否か、現時点では判断できない
3		その時の病状や病状による為
3	不安	安全性が心配。家族に心配をかける
3		参加という言葉の内容が不安
3		不安
3	副作用の不安	新しい薬の効果、副作用がわからないので
3		副作用が少し心配です
3		薬を服用する時は副作用などのデメリットも確認したいから。
3	怖い	甲状腺がんになり少しトラウマ状態になり薬のアレルギーもあるので怖いというイメージがある
3		勇気がない
3	健康に自信がない	自身の虚弱体質の故
3		現在病院医院で薬をいただいているので
3	アレルギー体質なので 安全性がわからない 今病気で無いです 興味が無い	アレルギーがあるから
3		安全性が未確認の状態なので怖い
3		とくに受けたいと希望する治療がない(病気が重篤でないため)
3		あまり考えたくない
3	身体をこわしそう 時間・場所に制限がある 自分に合うかわからない	病人が悪くなる事がある
3		時間的な問題
3		よりよい薬を作る事には協力したいが、自分に合うかどうか心配
3	わからない	あまりわからない
3		まだわからない
3		わからない
3		どの程度の内容なのかわからないので判断できない
3	その他	新しい薬に手を使うほど病気が悪くなるのは嫌だ
3		他の人が証明してくれたらそれはその方がいいと思う
3	特に無し	特になし

Q10	整理項目	Q11「治験」への参加意向「参加したくない」の理由
4	怖い	リスクが怖い
4		怖い
5		怖いから
4	不安	少々不安です
4		こわいから(不安である)
4		不安
4	信頼できない	失敗されたくないから
5		薬で病気を抑えることはできても、実際に治るとは思えない。
5	自分に合うかわからない	副作用や自分に薬があわなかったらこわいから。
4	健康に自信が無い	40代くらいまでならまだいいが50代後半からは身体具合がよくないので
4	身体をこわしそう	もしも体がおかしくなったら嫌だから
5	その他	必要なければ飲みたくない

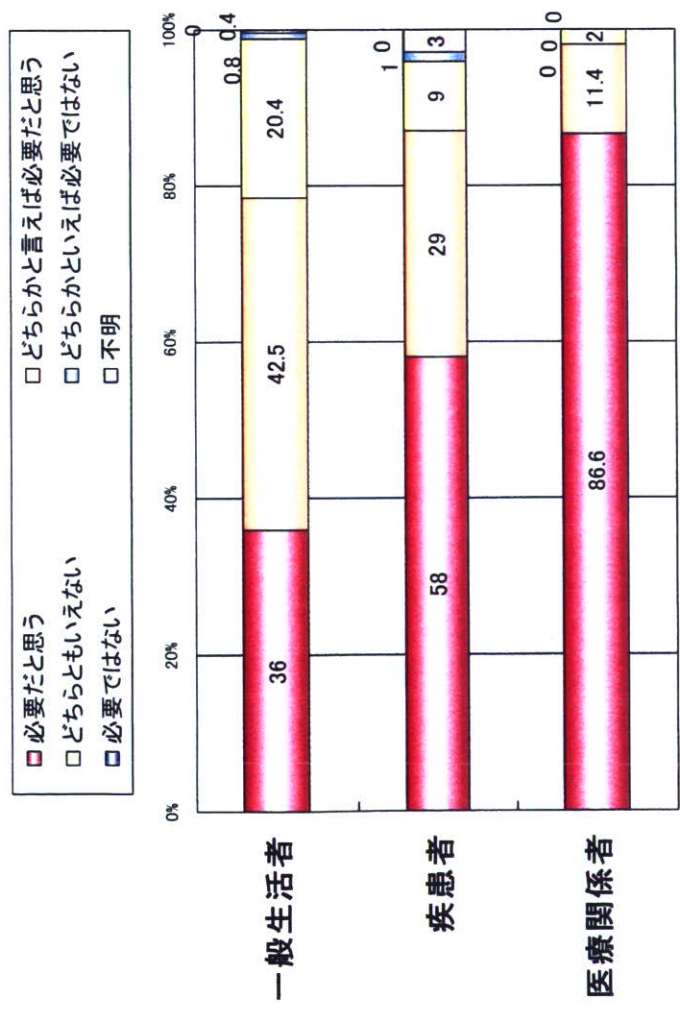
「参加したくない」の理由

「治験」の必要性

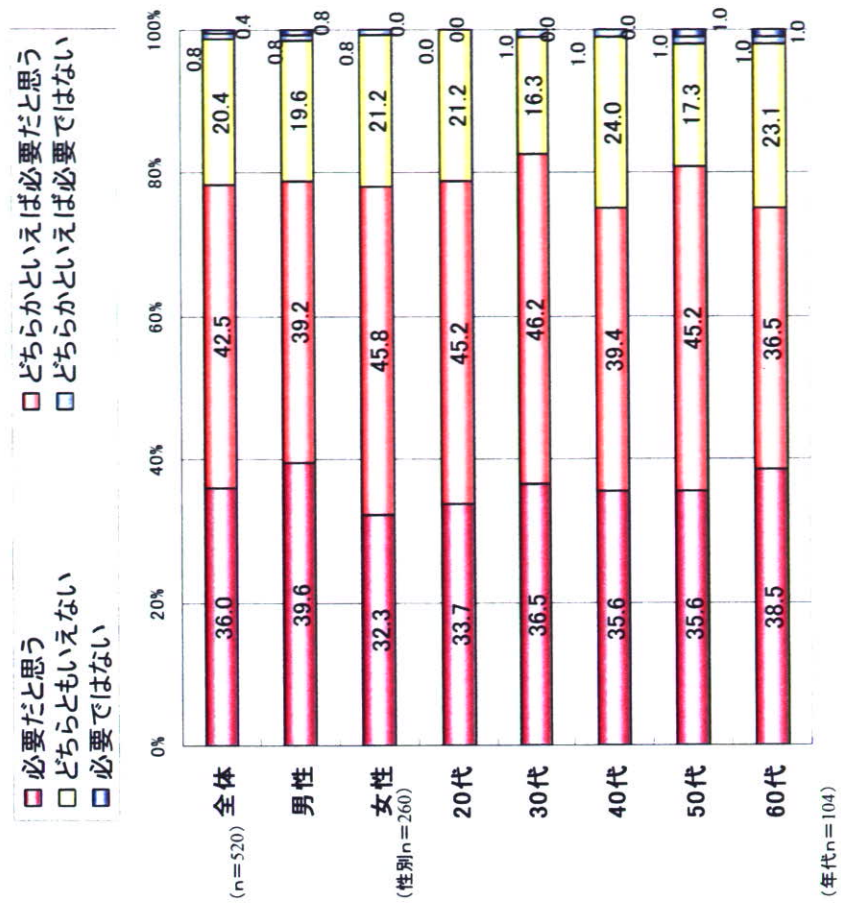
Q あなたは、あなた自身が参加するしないに関わらず、日本で「治験」の活動は必要だと思いますか？ 以下の中からひとつだけ選んで下さい。

- 「治験」の日本での必要性について聞いたところ、一般生活者は、必要（「必要だと思う」＋「どちらかといえば必要だと思う」）は、78.5%。年代別では40代と60代が若干低くなっている。
- 患者の場合は、一般生活者よりも必要と思う人は多く87%、特に「必要だと思う」と明確に答えた人は58%である。
- 医療関係者では、98%が必要とし、87%は「必要だと思う」と明確に答えている。

【「治験」の必要性】



＜一般生活者 属性別＞

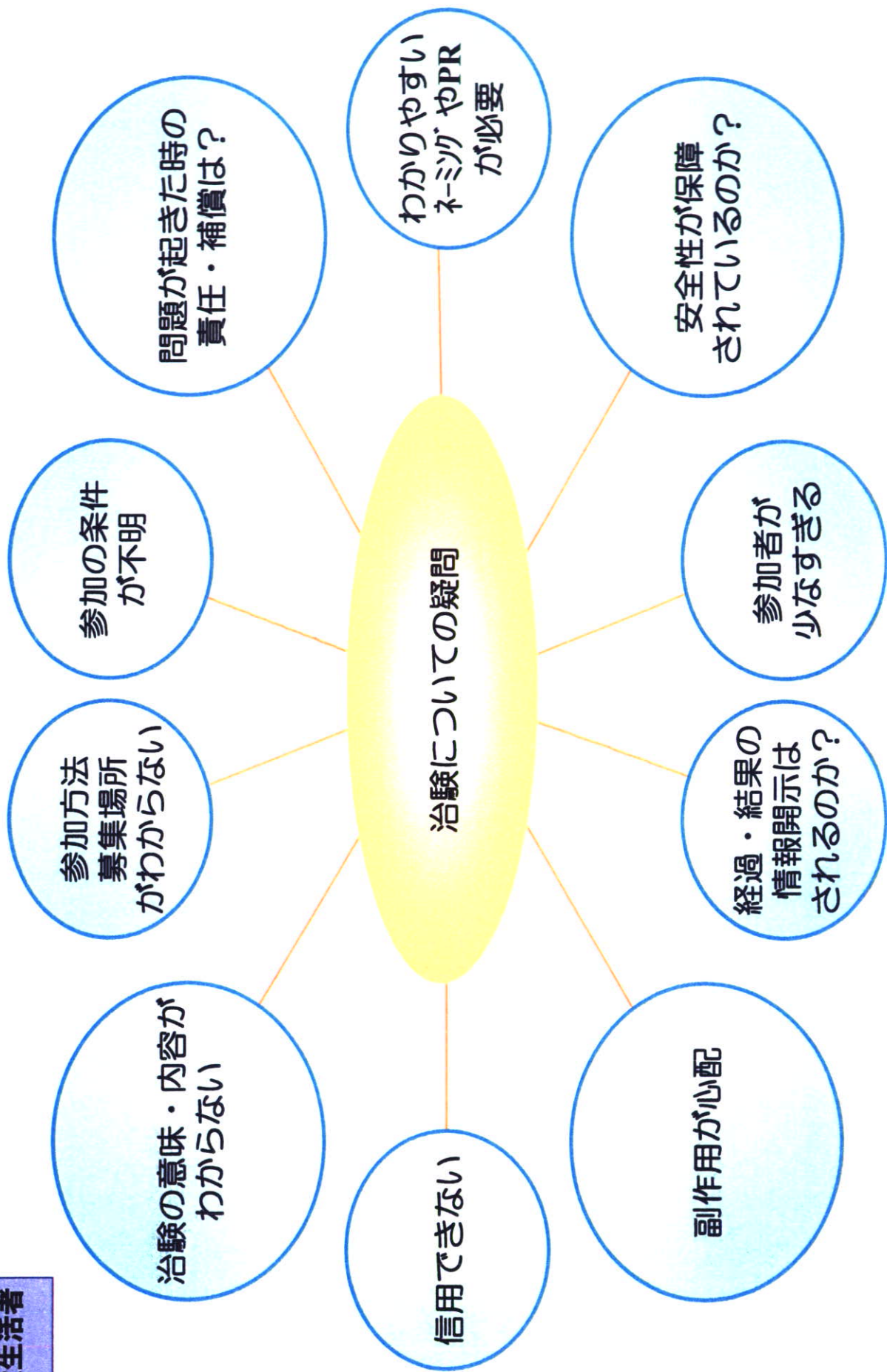


「治験」についての疑問

「治験」についての疑問 <一般生活者>

Q9「治験」について、疑問に思うことやわからない点があれば、具体的に教えてください。

一般生活者



「治験」に対する態度と情報提供のあり方について

- 「治験」への参加意向は、一般生活者で31%、患者で47%。ただし、「どちらかと言えば参加したい」を除いて「参加したい」と明確な意思表示をしている人は、一般生活者で11%、患者で15%である。
- 参加を躊躇する理由は、「怖い」「不安」という漠然とした恐怖心や、「副作用の不安」「安全性が確認されなければ」「リスクが伴うから」という安全面での理由が大半である。一部には「時間や場所に制限がある」という物理的な理由もあがっている。
- 一般生活者で、参加意向のある人の理由は、「自分の治療のため」「社会に貢献できる」「謝礼金が高い」が主なものである。患者では、「医学の進歩のため」「次世代のため」などボランティア意識が高く、謝礼は理由にあがっていない。
- 「治験」の必要性は、「どちらかといえば必要だと思う」を除いて「必要だと思う」と明確に答えた人でみると、一般生活者で36%、患者で58%、医療関係者で87%となっている。3層の意識には隔たりがある。
- 「治験」についての情報提供で見ると、一般生活者も患者もともに、「一般的・基礎的知識」を一番に望んでおり、まずは「治験とは何か」という初歩的な情報提供活動が第一ステップとして必要である。
- 情報提供における媒体として望まれているものは、新聞記事やテレビのニュースといったマスメディアの信頼できる報道であり、またそれと並行して、病院内でのポスターや医療関係者からの説明などの医療機関での情報提供が望まれている。現状では、ネットの広告やニュース、ブログなどが情報源として影響しているが、それらは現段階では適切だと思われる媒体ではない。

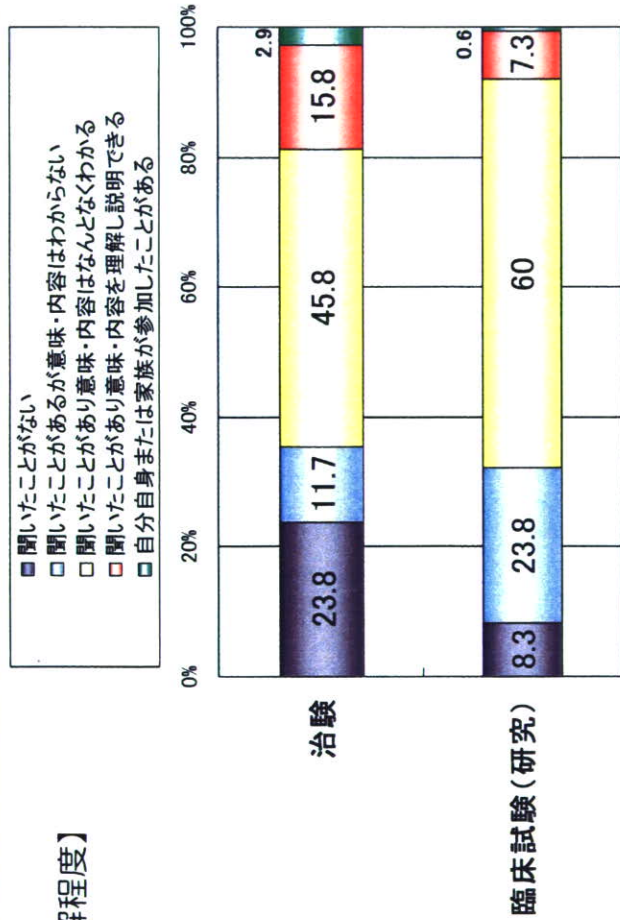
「治験」と「臨床試験・臨床研究」 連想および定量分析の比較

「治験」と「臨床試験・臨床研究」の連想

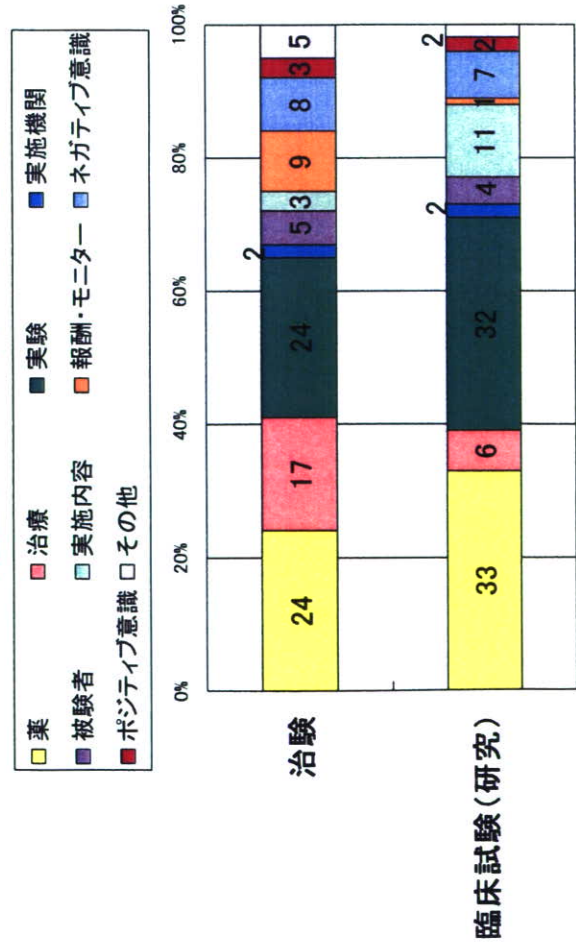
～連想ネットワーク分析～

一般生活者
＜全体＞

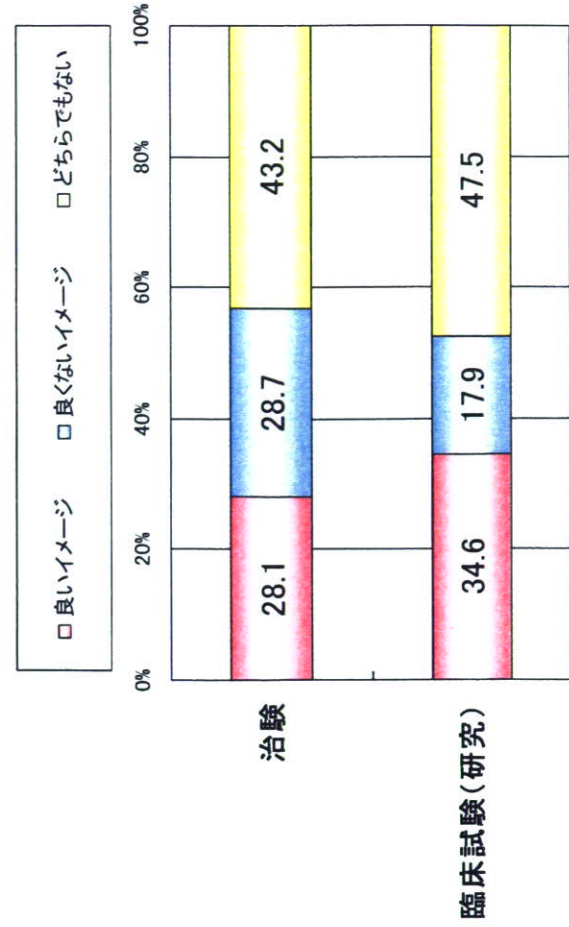
【認知・理解程度】



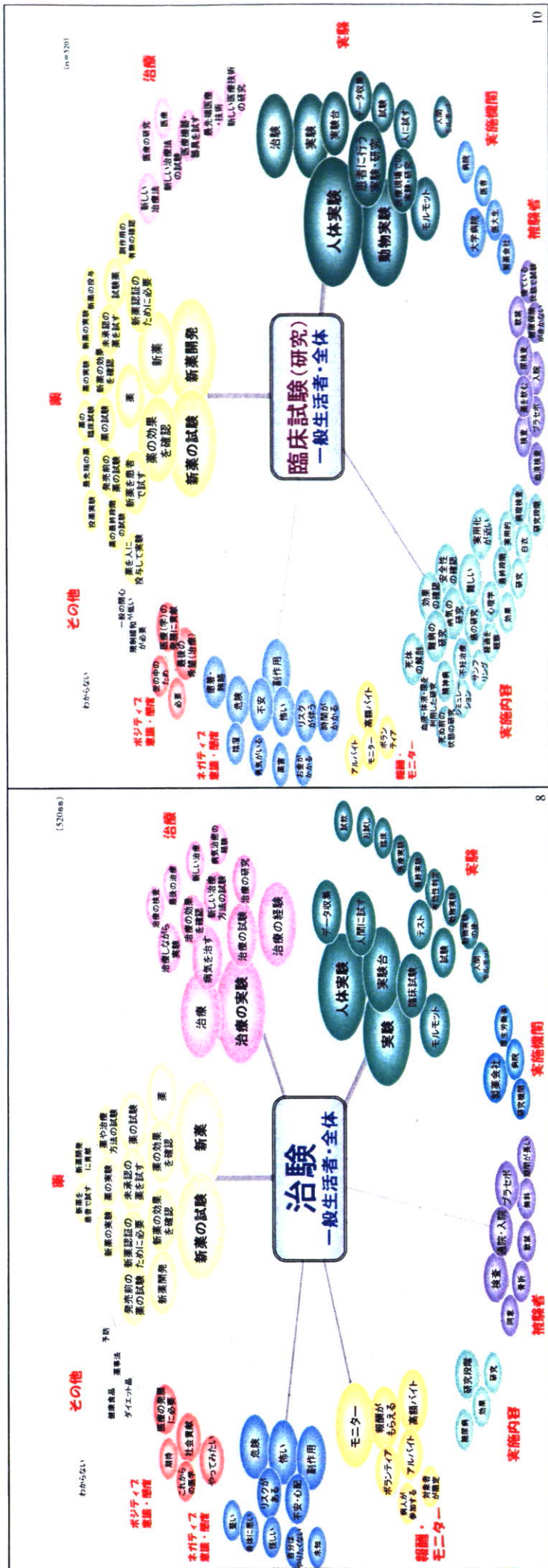
【連想ワードのカテゴリー比較】



【連想ワードのポジ・ネガ＜全体＞】



連想ワードランキング

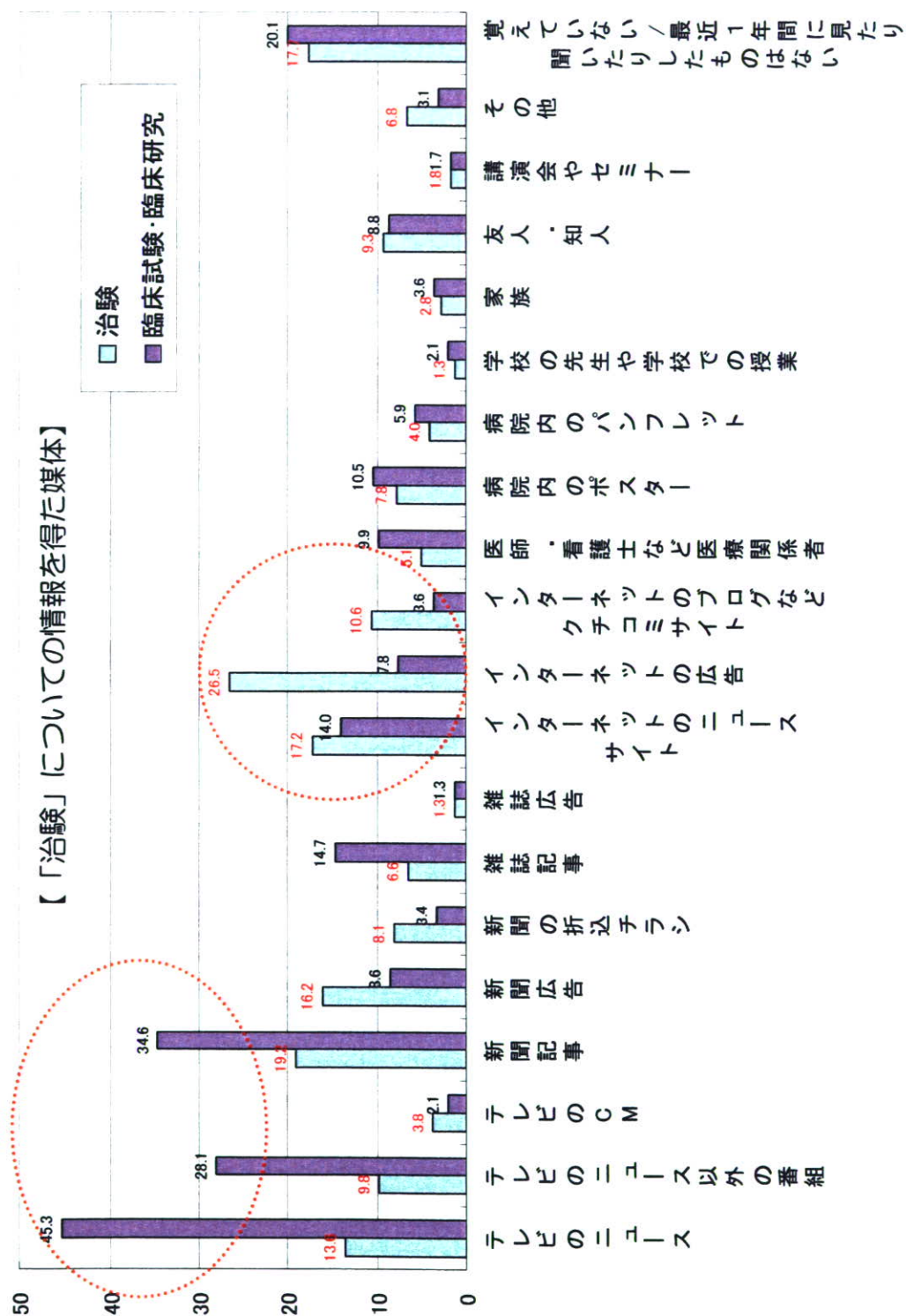


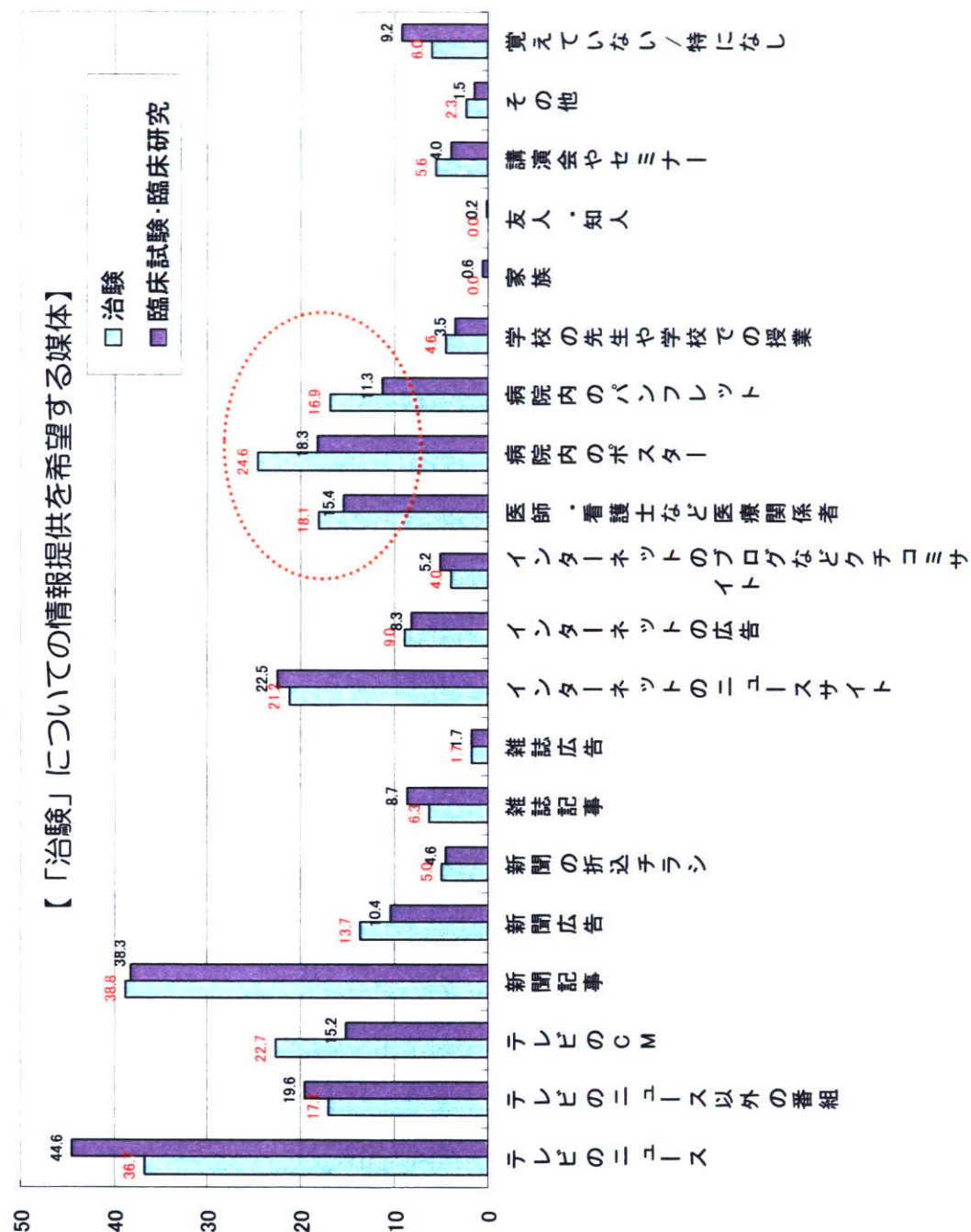
「治療」の連想ワード ＜一般全体＞		出現数	出現率 ／520
人体実験		46	8.8
治療の実験		44	8.5
実験		32	6.2
新薬		30	5.8
新薬の試験		29	5.6
モニター		22	4.2
わからない		22	4.2
治療		18	3.5
実験台		18	3.5
治療の経験		16	3.1

「治療」理想ワード	PNスコア
新薬	14
高価バイト	9
治療	8
病気を治す	8
報酬がもらえる	8
医療の発展に必要	6
新薬開発	6
アルバイト	5
社会貢献	5
ボランティア	4
薬や治療方法の試験	4
リスクがある	-6
治療の実験	-7
不安・心配	-8
副作用	-8
危険	-10
モルモット	-11
実験台	-11
怖い	-11
実験	-17
人体実験	-20

「臨床」の運想ワード ＜一般全体＞	出現数	出現率 ／520
人体実験	53	10.2
新薬開発	47	9.0
動物実験	36	6.9
新薬の試験	31	6.0
新薬	25	4.8
実験	25	4.8
治療	24	4.6
患者に行う実験・研究	23	4.4
わからない	17	3.3
薬の効果を確認	16	3.1

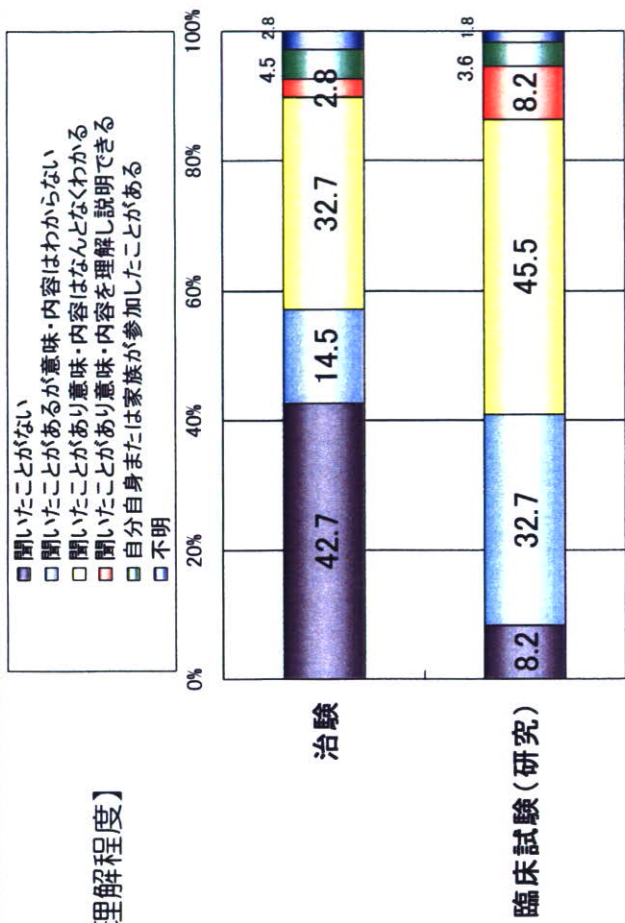
運想ワード	PNスコア
新薬開発	23
患者に行う実験・研究	12
新薬の試験	11
新薬	8
医療(学)の発展に貢献	8
医療現場での実験・研究	7
安全性の確認	7
最先端医療・技術	6
実用化が近い	6
新薬開発のために必要	5
新しい治療法	5
リスクが伴う	-5
不安	-5
癒着・閉鎖	-5
モルモット	-6
危険	-6
実験	-7
怖い	-7
副作用	-9
人体実験	-10
実験台	-10





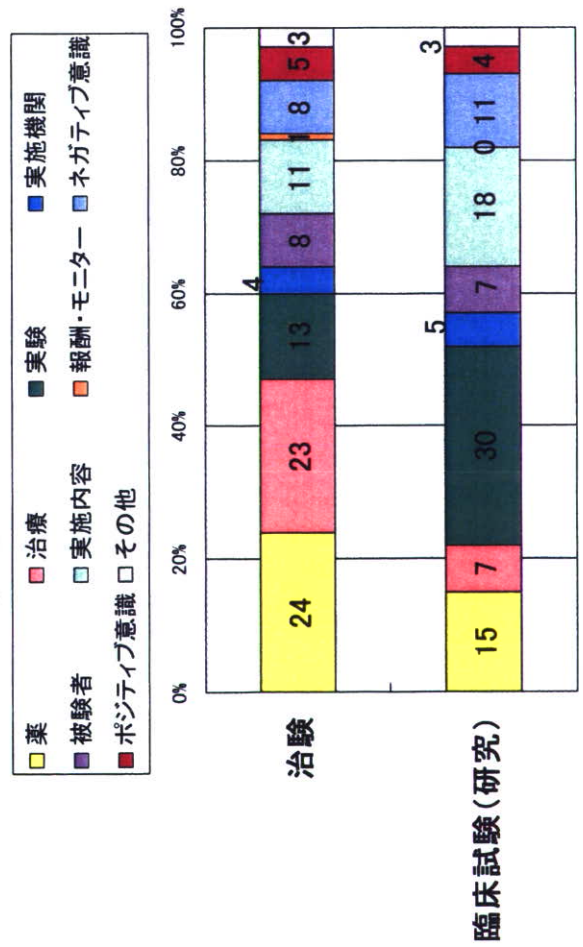
疾患者

【認知・理解程度】

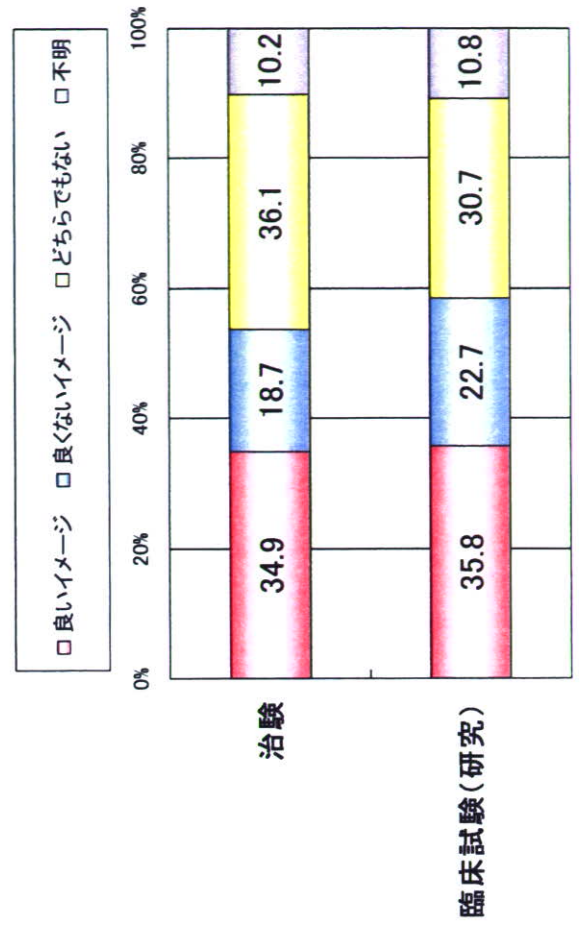


(n=110)

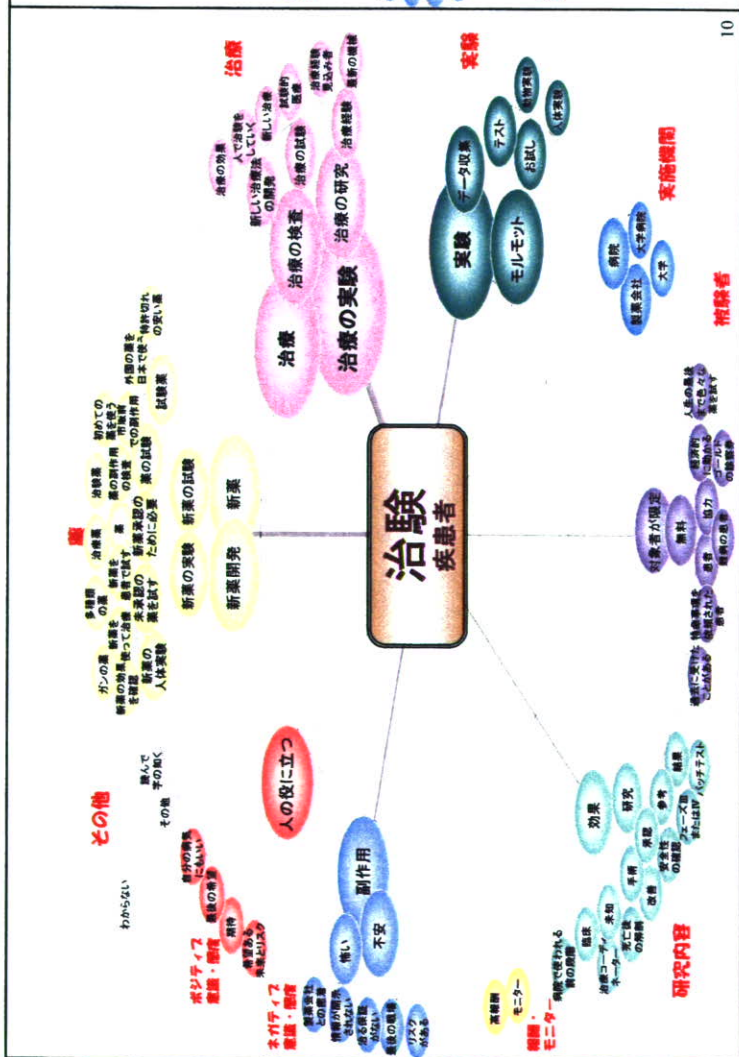
【連想ワードのカテゴリー比較】



【連想ワードのポジ・ネガ<全体>】

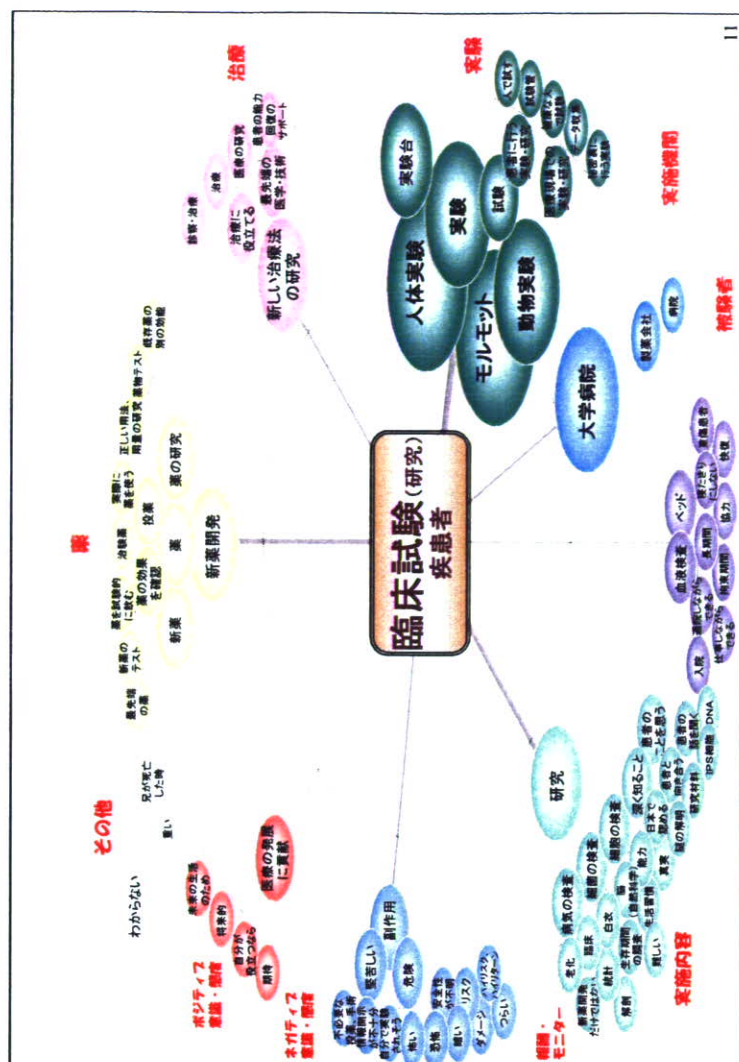


ランキング
ワード
連想



出現数	出現率／ 110
12	10.9
8	7.3
6	5.5
5	4.5
5	4.5
5	4.5
5	4.5
4	3.6
4	3.6
4	3.6

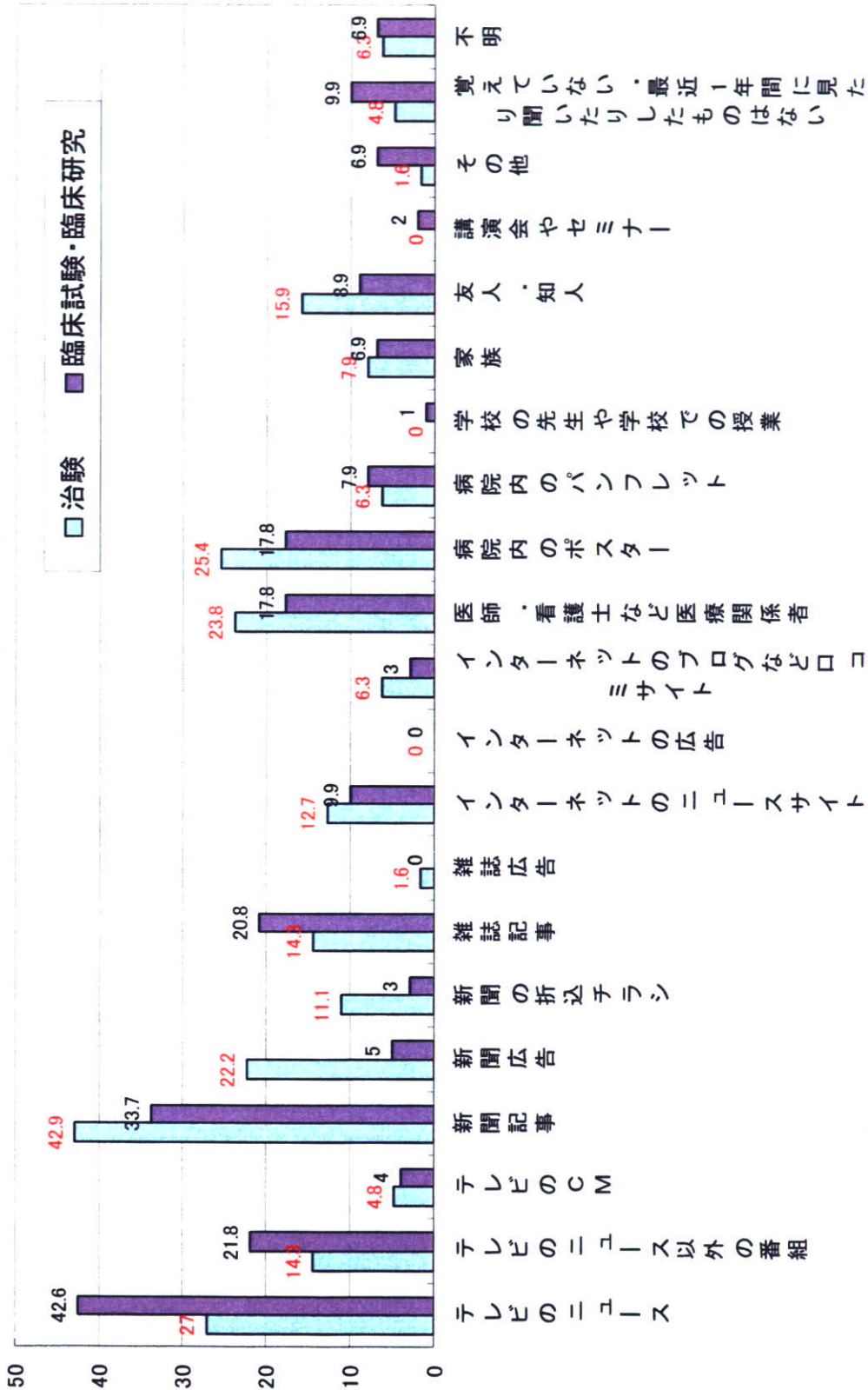
治験の連想ワード	PNスコア
新薬	5
治療	3
新薬開発	3
効果	2
治療の研究	2
新しい治療法の開発	2
新薬の試験	2
新薬承認のために必要	2
人の役に立つ	2
未承認の薬を試す	2
不安	-2
治療の実験	-4
副作用	-4

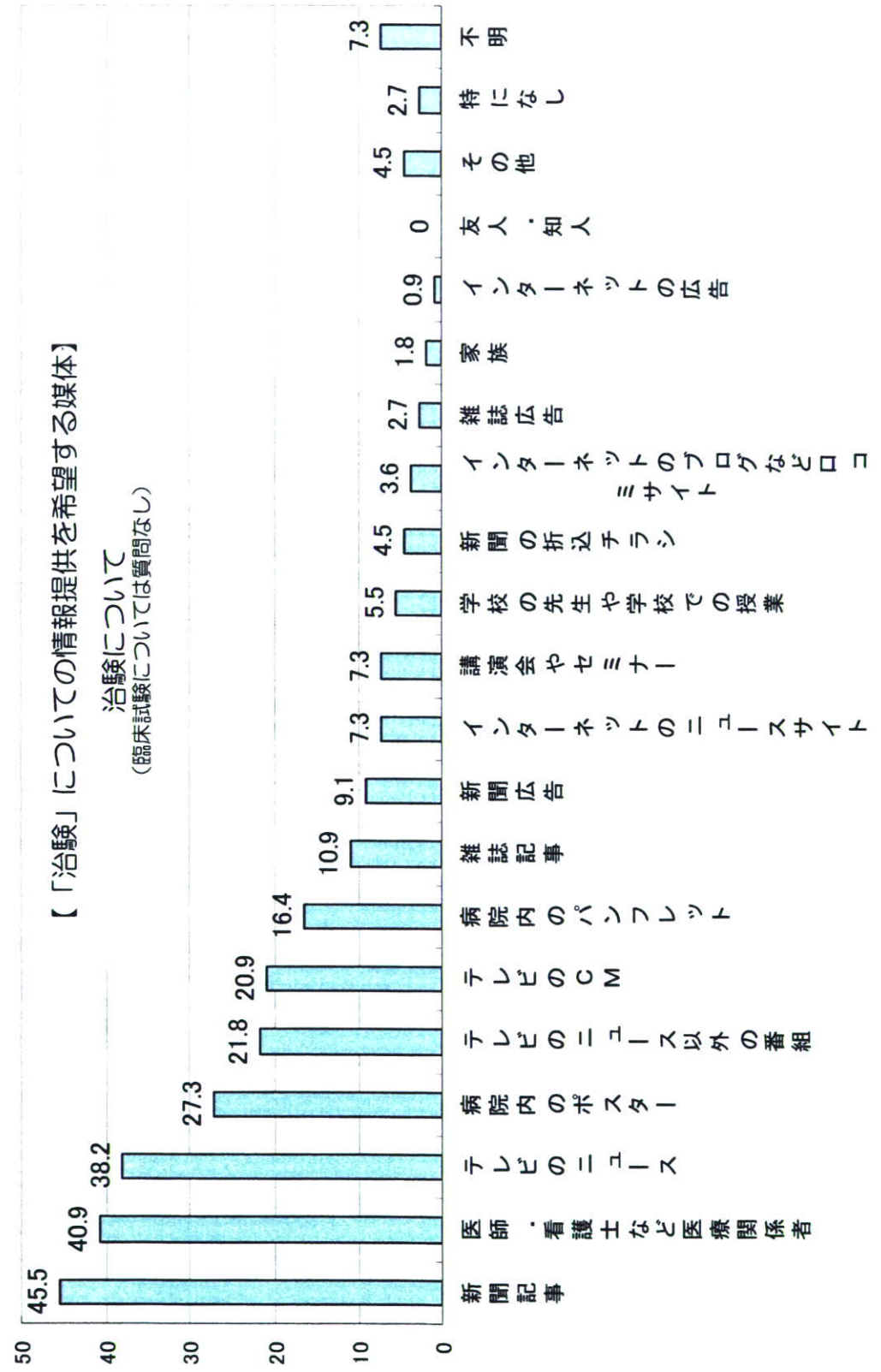


疾患者	「臨床」連想ワード	出現数	出現率／ 110
モルモット		11	10.0
人体実験		11	10.0
実験動物		8	7.3
大学病院		6	5.5
新薬開発		6	5.5
新しい治療法の研究		5	4.5
実験台		4	3.6
研究		4	3.6
わからない		4	3.6

「臨床試験・研究」進想ワード	PNスコア
医療の発展に貢献	3
新薬	3
新薬開発	3
動物実験	3
患者のことを思う	2
治療に役立てる	2
新しい治療法の研究	2
深く知ること	2
危険	-2
実験	-2
モルモット	-3
人体実験	-7

【「治験」についての情報を得た媒体】

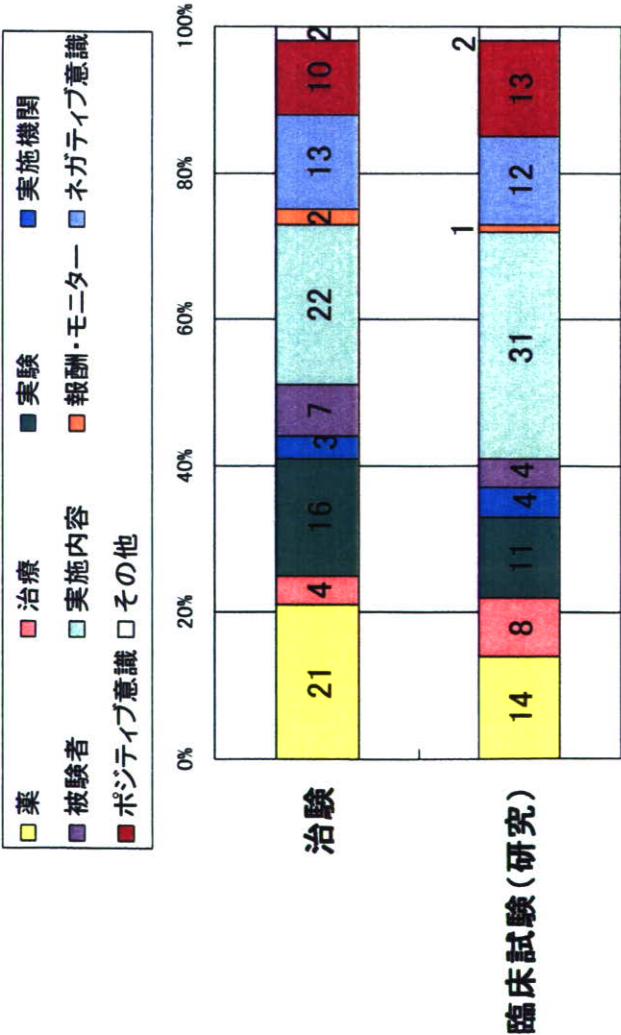




医療関係者

(246ss)

【連想ワードのカテゴリ比較】



【連想ワードのポジ・ネガ】

